

単元名

北海道地方—雄大な自然とともに生きる人々の暮らし—

1 単元のねらい

日本の最北に位置する北海道地方の地形や気候の特色、自然災害や防災での取り組みなどを基に北海道の自然環境に関する特色を理解し、なぜたくさん農作物を出荷したり、観光客を引きつけたりしているのかを自然環境に着目しながら多面的・多角的に考え、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする事ができる。

2 単元の評価規準

| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---------|--|---|--|
| 単元の評価規準 | <ul style="list-style-type: none"> 北海道地方の地域的特色を地形図や雨温図などの資料から読み取ることができる。 北海道地方の人々が農業には適していない気候や土壌の問題に対しどのように困難を乗り越えてきたのかを理解している。 | <ul style="list-style-type: none"> 北海道地方の人々の生活や、人々が行っている農業について、社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し表現している。 北海道地方の人々が直面する課題とどう向き合っており、それらをどのように観光業に生かしているのか多面的・多角的に考察し表現している。 | <ul style="list-style-type: none"> 北海道地方の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 学習に進んで取り組み、北海道地方の人々の暮らしと自然環境とのかかわりを捉えようとしている。 |

●学習改善につながる評価 ○評定に用いる評価

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---------------|---|---|---|---|---|
| 知識・技能 | ● | ○ | ○ | | |
| 思考・判断・表現 | | | | ● | ○ |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ● | | | | ○ |

3 単元構造図（全4時間） ☆獲得する認識

| | |
|---|--|
| 単元名 北海道—雄大な自然とともに生きる人々の暮らし— | 単元学習前の生徒の認識 第3章では様々な日本の地域について学習し、地域によって特色が異なることを学習してきた。小学校では、北海道に住む人々が自然環境に合わせて生活していることを学んでいる。 |
| 第1時 北海道地方を眺めて【●知・技 ●態度】 九州地方と北海道地方にはどんな違いがあるのだろうか。 ☆国立公園 ☆濃霧 ☆アイヌの人々 北海道は中央部に山地が広がり、東西で気候に違いがある。また、火山の活動で作られた地形も見られ、国立公園に指定されている地域もある。九州地方とは違い冷帯に属しているため厳しい自然環境だが、それを農業や観光に生かしている。 | |

北海道地方の人々はどうのように自然と関わって生きているのだろうか。

第2時 自然の制約に適応する人々の工夫【○知・技】

雪が多く降る北海道地方で、人々はどうのように自然と関わり、生活をしているのだろうか。

☆ロードヒーティング ☆ハザードマップ

北海道地方では、大雪に備え、家の断熱性を高めたりロードヒーティングなどの対策をしたりしている。また、火山の噴火に備えハザードマップを活用している。漁業は北洋漁業から養殖漁業へ変化している。

第3時 自然の制約や社会の変化を乗り越える【●知・技】

北海道地方の人々は厳しい自然環境をどのように生かしているのだろうか。

☆石狩平野 ☆十勝平野 ☆輪作 ☆酪農

北海道地方では広大な平野を生かし農業を行うことで日本有数の米の生産地になっている。また、気温が低いところでの栽培が適している作物を輪作という方法を取り入れ作っている。酪農も盛んであり、生乳を加工し、バターやチーズを全国に出荷している。しかし、海外との価格競争と地産地消とのバランスが課題である。

第4時 自然の特色を生かした産業【●思・判・表】

北海道地方の厳しい自然環境は農業以外にも、生かしているのだろうか。

☆流水 ☆世界遺産 ☆エコツーリズム

北海道地方には夏の涼しさや冬の雪まつり、流氷などを目的に多くの観光客が訪れる。知床は世界遺産に登録されているため、外国人観光客も多く存在する。観光業で自然が損なわないよう持続的な取り組みが必要である。

第5時 北海道地方を振り返ろう【○思・判・表 ○態度】

学んだアトを生かして北海道をプレゼンで紹介しよう

単元学習後の生徒の認識

この単元の学習前は、「北海道は大きくて寒い地域である。」というぼんやりとした認識であるが、学習を通して冷帯に区分されることによって気温が低く、雪が多く降る特徴があることが分かった。しかし、厳しい自然環境の中で、人々は工夫して生活しており、広大な土地を利用した農業や酪農、涼しさや雪を生かした観光業などが盛んであることを認識し、北海道地方の人々が自然を上手く生かして生きていることが分かった。

4 単元指導計画

| 時 | ねらい | おもな学習活動 | 評価規準 | 資料および留意点 |
|----------------------|---|--|---|--|
| 1 北海道地方を眺めて | <p>北海道地方について、地形図、雨温図などの資料から基礎的・基本的な知識を身に付ける。</p> <p>北海道地方の地域的特色を理解するために「北海道地方の人々はどのように自然と関わって生きているのだろうか。」という探求課題を立て、見直しをもって主体的に追及する。</p> <p>☆国立公園 ☆濃霧 ☆アイヌの人々</p> | <p>1 九州地方と北海道地方の雨温図や写真を比較してそれぞれの地域のちがいをつかむ。</p> <p>九州地方と北海道地方にはどんな違いがあるのだろうか。</p> <p>2 教科書のグラフや写真から気づきや考えを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面積は九州地方全体より大きく、人口は半分くらいだ。 ・自然環境を見ると、山地と平野がほとんど。流氷が来たり、濃霧が発生したりする。 ・全国から宿泊者が来ていて、ほぼ日本の人口くらいの観光客が来ている。 ・生乳生産額は日本のほぼ半分を北海道が賅っている。 <p>≪単元を貫く課題≫</p> <p>北海道地方の人々はどのように自然と関わって生きているのだろうか。</p> <p>3 本時のまとめとして、単元を貫く課題に対する予想を書く。</p> | <p>九州地方と北海道地方の違いを資料から読み取ることができている。</p> <p>単元を貫く課題に対して、自分なりに予想し主体的に追求しようとしている。</p> <p>(知・技) (態度)</p> | <p>◇教科書</p> <p>雨温図や地形図から厳しい自然環境であることをおさえておく。</p> |
| 2 自然の制約に適応する人々の工夫 | <p>北海道の厳しい自然環境とそれに対する生活の工夫について、景観写真や模式図などの読み取りを通して理解する。</p> <p>北海道の人々が自然環境をどのように活用しているのか、気候、火山や農業などの視点から考察する。</p> <p>☆ロードヒーティング ☆ハザードマップ</p> | <p>1 教科書の写真を見せて、なぜ道路標識が高いところにあるのか予想する。</p> <p>雪が多く降る北海道地方で、人々はどのように自然と関わり、生活をしているのだろうか。</p> <p>2 資料から読み取り、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雪が多く降っても、対応できるよう家の寒さ対策や、道の雪をとく工夫がある。 ・火山があるため、防災を大切にしているのではないか。 ・すけとうだらの漁獲量が減っている。理由を調べてみよう。 ・雪が降っても大丈夫なように道路を温めるロードヒーティングという機能が北海道にはある。ほかの地方にはないのか。 <p>3 本時のまとめをする。</p> | <p>厳しい自然環境に対して、人々がどのように工夫しているのか資料から読み取ることができている。</p> <p>(知・技)</p> | <p>◇教科書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路標識の写真 ・住宅や道路の工夫の図 ・火山の様子 ・漁獲量の変化 |
| | | 北海道地方では、大雪に備え、家の断熱性を高めたりロードヒーティングなどの対策をした | | |

| | | | | |
|------------------------|---|---|---|--|
| | | りしている。また、火山の噴火に備えハザードマップを活用している。漁業は北洋漁業から養殖漁業へ変化している。 | | |
| 3 自然の制約や社会の変化を乗り越える | 北海道地方の厳しい自然環境の中で、人々がどのような工夫や努力を行って農業を営んできたのかをとらえ、理解する。 今後の北海道地方の農業の在り方について、国際競争と地産地消の視点から考察する。 | 1 前ページの寒そうな写真から、農業ができそうか問う。 北海道地方の人々は厳しい自然環境をどのように生かしているのだろう。 2 資料から読み取り、交流する。 ・多くの農産物を作っている。 ・広大な土地を活用して、米や小麦を生産している。 ・乳牛を育てており、他の県とは違い、加工用の生乳の割合が高い。 3 本時のまとめをする。 | 北海道地方の人々が行う農業の特徴を資料から読み取ることができている。 (知・技) | ◇教科書 ・広大な平野の写真や、農家一戸当たりの耕地面積 ・おもな農産物の生産量に占める北海道の割合 ・乳牛の県別飼育頭数の割合と加工用に出荷される生乳の割合 |
| | ☆石狩平野 ☆十勝平野 ☆輪作 ☆酪農 | 北海道地方では広大な平野を生かし農業を行うことで日本有数の米の生産地になっている。また、気温が低いところでの栽培が適している作物を輪作という方法を取り入れ作っている。酪農も盛んであり、生乳を加工し、バターやチーズを全国に出荷している。 しかし、海外との価格競争と地産地消とのバランスが課題である。 | | |
| 4 自然の特色を生かした産業 | 北海道地方の観光業に着目し、冷涼な気候は各地から観光客をひきつけていることを理解する。 北海道地方の観光客の増加について、地域の発展と環境保全の視点から考察する。 | 1 流水の写真から、現地に行って見てみたいか、交流する。 北海道地方の厳しい自然環境は農業以外にも、生かしているのだろうか。 2 資料から読み取り、交流する。 ・雪が多く降るが、それを観光資源として生かしている。 ・夏に多くの観光客が来るのは、避暑地として訪れる人が多いからだと思う。 ・夏と冬でそれぞれ楽しめるレジャーがある。 3 本時のまとめをする。 4 単元のまとめをする。 新しく分かったことや、さらに興味を持ったことを自分の言葉でまとめる。 | 北海道地方の観光業の特徴を資料から読み取り、多面的・多角的に考察することができている。 (思・判・表) | ◇教科書 ・流水の写真 ・雪まつりの写真 ・北海道地方の産業の図 ・北海道への月別観光客数と外国人宿泊者の国・地域別内訳 |
| | ☆流水 ☆世界遺産 ☆エコツーリズム | 北海道地方には夏の涼しさや冬の雪まつり、流水などを目的に多くの観光客が訪れる。知床は世界遺産に登録されているため、外国人観光客も多く存在する。観光業で自然が損なわれないよう持続的な取り組みが必要である。 | | |
| 5 北海道地方を振り返ろう | 自然環境を中核とした考察の仕方を取り上げた北海道の地域的特色とそこで生ずる課題を「北海道の魅力プレゼンする」という活動を通して振り返り、これらを理解する。 | 1 活動内容を伝える。 学んだことを生かして北海道をプレゼンで紹介しよう 2 今までに活用した資料を活用しながら、プレゼンを作る。 3 完成したプレゼンを発表する。 4 単元の振り返りをする。 | 北海道地方の自然環境を中核とした学習をプレゼンづくりという形で具体的に表現している。 (思・判・表) (態度) | ◇教科書 今まで活用してきた資料や、インターネットを活用して見つけた資料 |
| | | 北海道地方はほかの地方とは違う自然環境であり、その違いを観光業に生かしたり、工夫したりすることで特有の魅力にしてきたことで特色ある産業を発達させてきた。 | | |